

第7次大豊町総合計画

ゆとりすとカントリー

おおとよ



高知県大豊町
平成27年3月

目 次

- はじめに 2
- 町の現状 5
- 町の将来像
 - 基本理念・目指すべき姿・町政運営の基本姿勢 ... 15
 - 基本戦略 16
 - 施策の大綱 17
- 施策の内容
 - 「環境、交流からの山村再生」を目指して 19
 - 「生活の安全、安心、快適」を目指して 25
 - 「夢をはぐくむ子育て・教育環境」を目指して ... 33
 - 「住民と協働する役場」を目指して 37
- おおとよの挑戦 38

◆ 計画の趣旨

この計画は、大豊町の将来に向けた町づくりを進めていく上の必要な取り組みを示したもので、町政及び町民の今後の活動の指針となるものです。

この計画に基づき、主役である町民と役場が力を合わせて、環境世紀にふさわしい元気な山村の実現に向けて、積極的に取り組みます。

◆ 策定の背景

大豊町は、昭和30年に天坪村、大杉村、西豊永村、東豊永村の4村が合併し、人口22,386人でその歴史が始まりました。

誕生半世紀を超えた今日、人口は5分の1に減少、集落の限界集落化から限界自治体と言われるように高齢者の割合が5割を超え、全町民の平均年齢が60歳を迎えるなど、全国的にも例を見ない超超高齢社会となり、たくさんの課題を抱えています。

しかし、環境世紀を迎え、地域の持つ公益的な機能、そしてこの機能を守っている私たちが山村に暮らすことの重要性がますます大きくなる中、地域の現実の認識の上に立ち、新たな視点からの安全・安心で安定した暮らしの確保が求められています。

◆ 計画の構成と期間

この計画は、目指すべき将来像と、それを実現するための取り組みで構成されます。計画期間はおおむね5年間を目標とします。
(平成27年度～平成31年度)



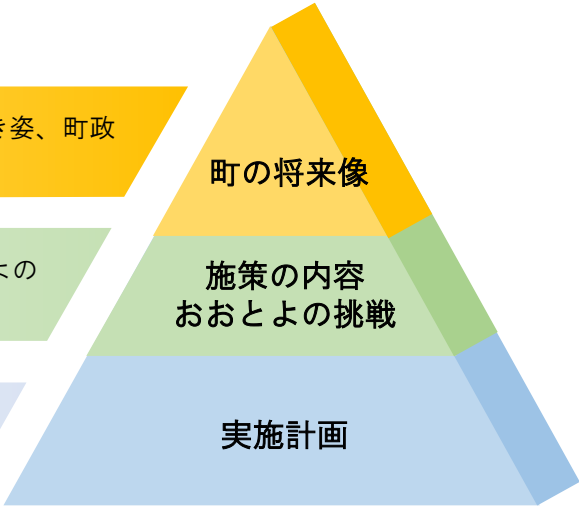
はじめに

◆ 総合計画の構成

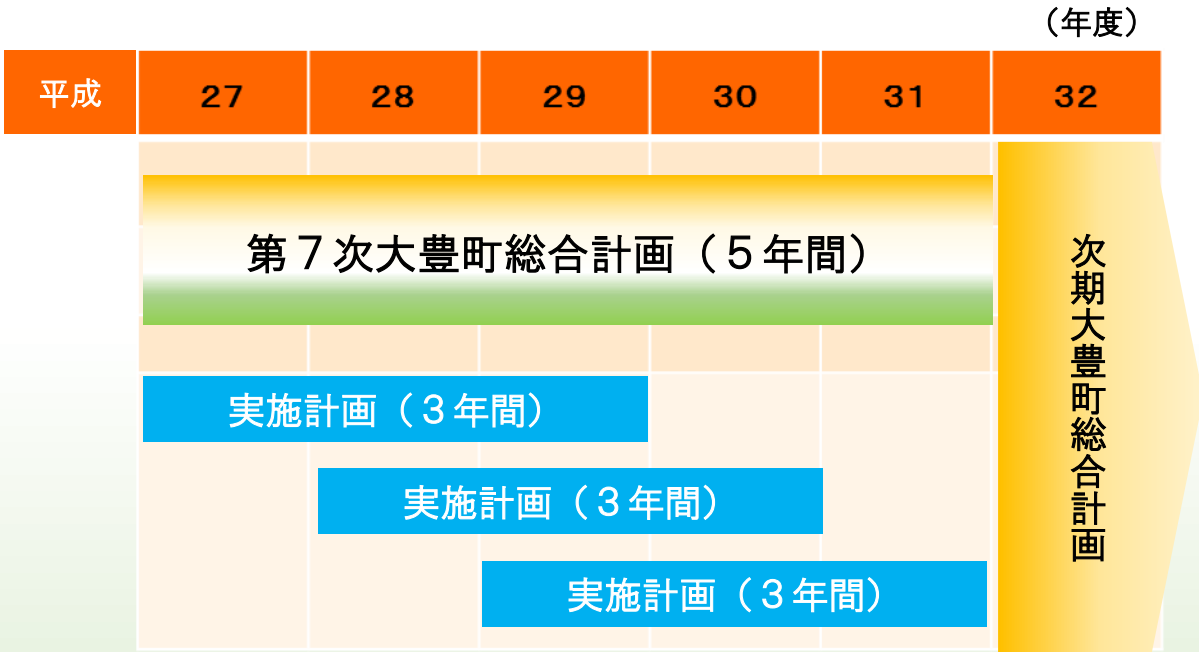
町の将来像を実現するための基本理念、目指すべき姿、町政運営の基本姿勢、基本戦略、施策の大綱を示す

町の将来像を実現するための施策の内容、おおとよの挑戦を示す

施策の内容、おおとよの挑戦に基づく施策実施のための事業内容を示す



◆ 総合計画の期間



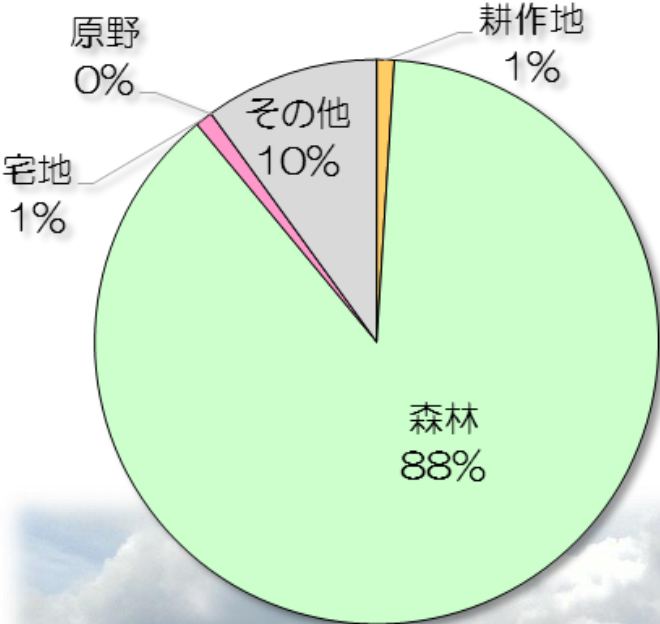
はじめに



◆ 地勢

四国の中央部の標高200メートルから1,400メートルを超える急峻な山岳地帯で、標高800メートルまで民家が点在する集落形態が315.06平方キロメートルの町全域に点在する典型的な山村です。

町の88%が山林



町の現状

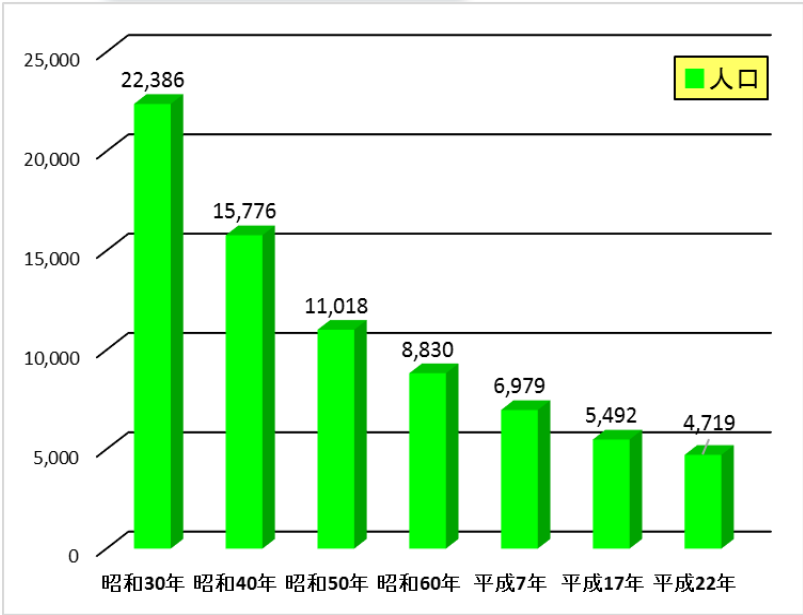


◆ 人口の推移、人口の構成

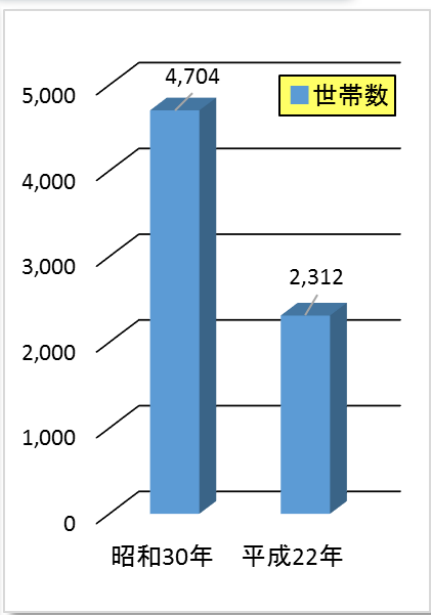
◆ 平均年齢60歳時代

昭和30年合併から半世紀が経過し、人口は約5分の1、高齢者の数は町民の半数を超えるなど、極度に過疎、高齢化が進み、全国的にも例を見ない超超高齢社会を迎えています。

人口は5分の1

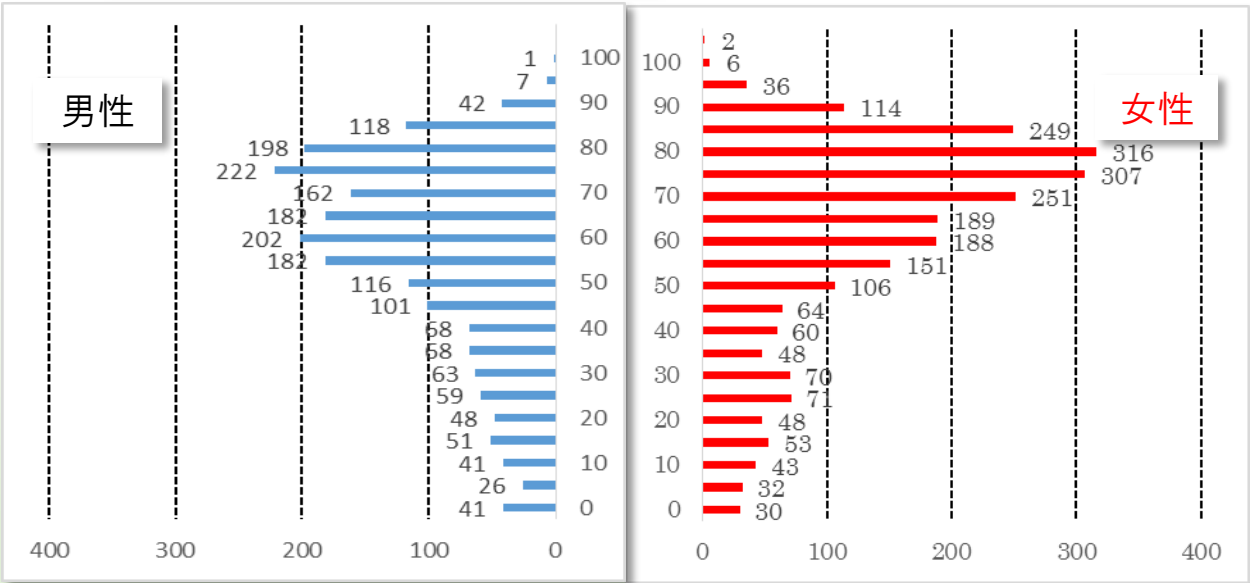


世帯は2分の1



町の現状

全町民の平均年齢 61歳



◆ 減少する人口

◆人口減少率全国第5位

過疎、高齢化の進行による出生数の減少、地域産業の低迷による若者流出など、依然として人口減少が続いており、将来人口予測においても全国第5位の高い減少率が予測され、地域の将来にとって大きな課題となっています。

人口減少率（予測）全国第5位

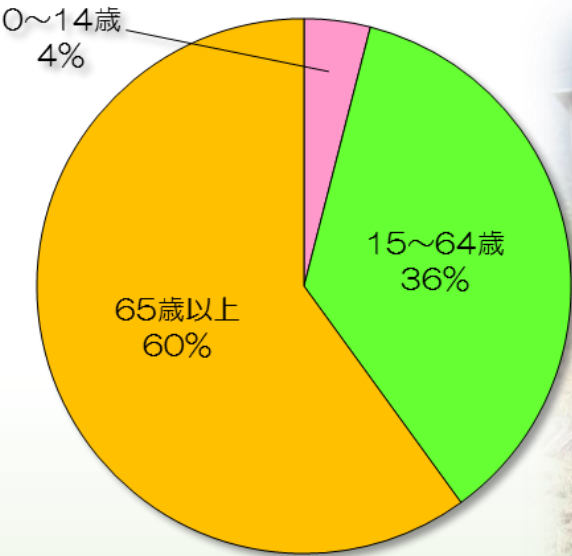
	2040年	指数	全国順位
総人口	1,636	34.7	5
0～14歳	71	29.2	
15～64歳	582	30.2	
65歳以上	983	38.6	
75歳以上	740	45.6	
65歳以上	983	60.1%	

(人口=国勢調査) (指数 2010年=100)

『日本の地域別将来推計人口』（平成25年3月推計）
国立社会保障・人口問題研究所

順位	自治体名	総人口（人）		指数
		2010年	2040年	2040年
1	群馬県南牧村	2,423	702	29.0
2	長野県川上村	1,643	527	32.1
3	群馬県神流町	2,352	780	33.2
4	奈良県東吉野村	2,143	733	34.2
5	高知県大豊町	4,719	1,636	34.7
6	北海道夕張市	10,922	3,883	35.6
7	長野県天龍村	1,657	597	36.0
8	北海道歌志内市	4,387	1,608	36.7
9	山梨県早川町	1,246	459	36.8
10	北海道三笠市	10,221	3,960	38.7

(指数 2010年=100)



《参考》

	2035年	指数	全国順位
総人口	1,867	34.0	3
0～14歳	76	20.7	6
15～64歳	551	23.6	3
65歳以上	1,240	44.5	4
75歳以上	958	62.6	4
65歳以上	1,240	66.4%	4

(人口=国勢調査) (指数 2005年=100)

『日本の地域別将来推計人口』（平成20年12月推計）



◆ 高齢化の進展

◆65集落で高齢者が半数を超える
過疎、高齢化の進行による集落単位での自治活動、集落を中心とする地域活動の維持、また、集落活動に支えられた住民生活の維持など、多くの課題を抱えています。

住民基本台帳（平成26年4月1日）

人 口	4, 432人
世帯数	2, 473世帯
平均年齢（男）	58歳
（女）	64歳
（全町民）	61歳

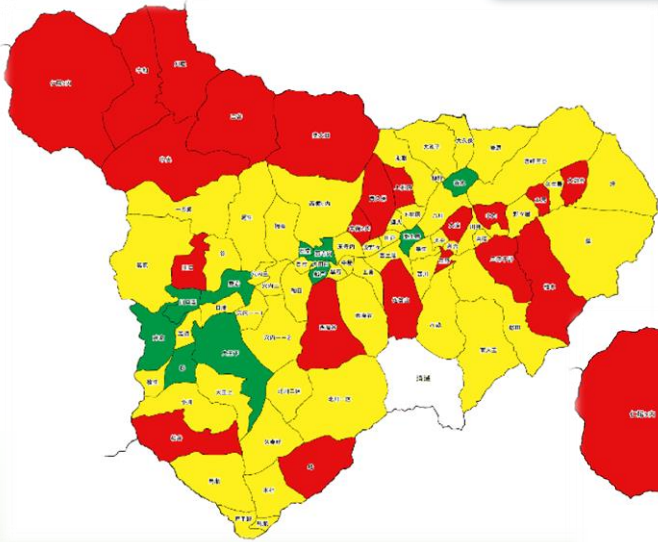
平成22年国勢調査

人 口	4, 719人
世帯数	2, 312世帯
高齢単身世帯	633世帯
高齢夫婦世帯	705世帯
高齢者比率	54. 0%
若年人口比率	5. 1%

町の現状

（参考）平成10年4月1日

集落の現状

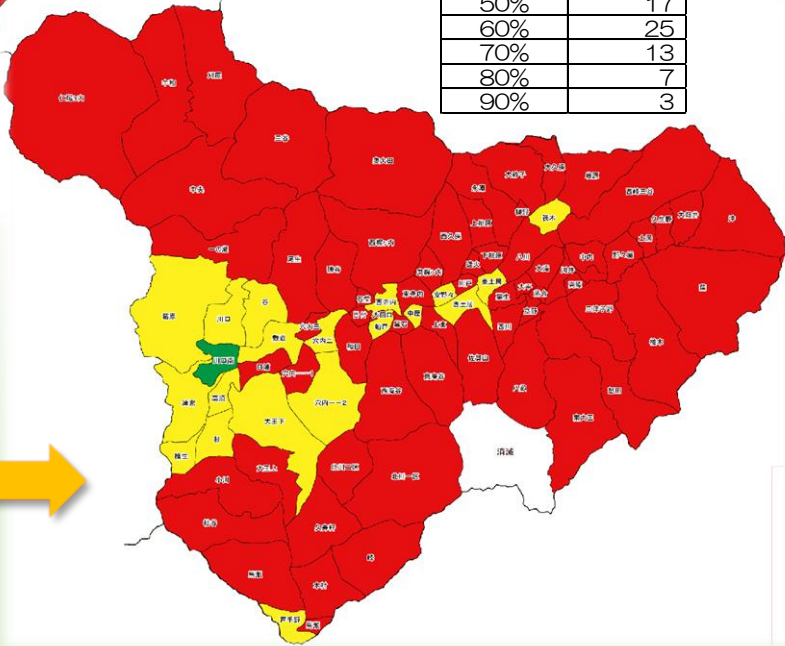


10	限界集落（65歳以上が半数を超える集落）
54	準限界集落（55歳以上が半数を超える集落）
21	普通集落

【平成26年4月1日現在】

65	限界集落（65歳以上が半数を超える集落）
19	準限界集落（55歳以上が半数を超える集落）
1	普通集落

65歳以上が半数を超える集落（65集落）の内訳	
50%	17
60%	25
70%	13
80%	7
90%	3



◆ 社会資本（道路）

◆道路の整備（町の管理する道路：529km）
広範囲な急峻地帯に集落、民家が点在する中、町の管理する道路の延長は529km、改良率は30%と非常に低く、日常生活における安全で快適な通行の面から住民生活に大きな不安、不便を強いるとともに、今後の維持管理面における対応など大きな課題となっています。

町の現状

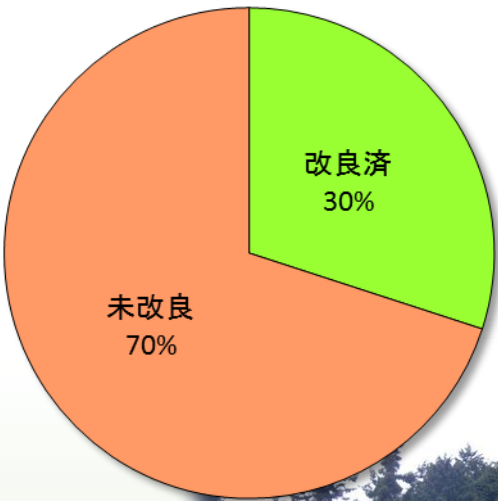
町の管理する道路（H25.4.1）

（単位：km）

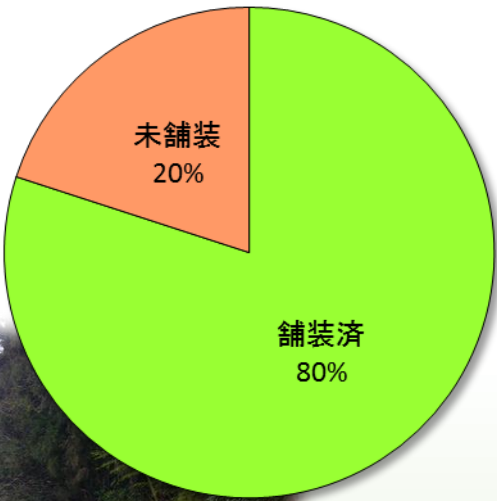
町道	417.3
農道	12.5
林道	99.3
合計	529.2



町道改良率（H25.4.1）



町道舗装率（H25.4.1）



◆ 社会資本（水道）

◆ 水道普及率75.6%

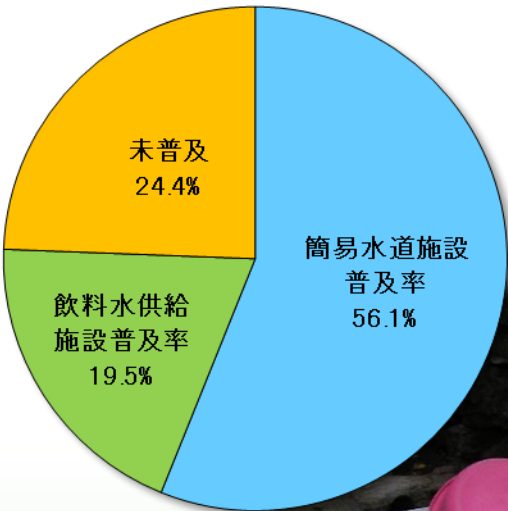
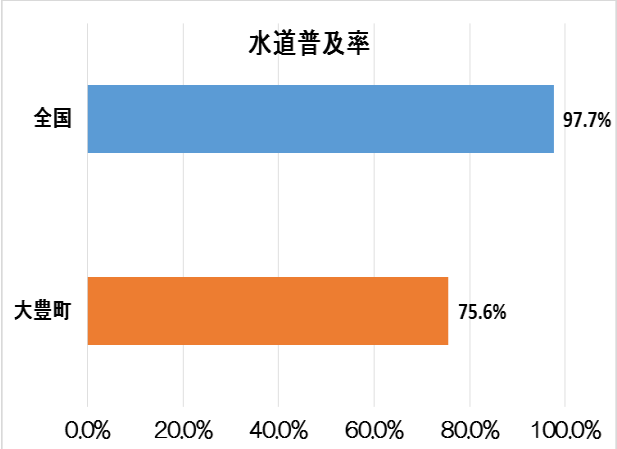
住民生活にとって最も基本的な社会資本の一つである水道施設の整備率が低く、林業低迷による森林の荒廃などに起因する水不足の中での飲料水の確保、集落が高齢化する中での水源管理など、住民生活に大きな課題となっています。

水道施設等の状況（平成25年度末）

給水人口：3,351人（75.6%）
人口：4,432人
（H26.3.31現在）

簡易水道普及率：56.1%
飲料水供給施設普及率：19.5%

参考：全国普及率 97.7%



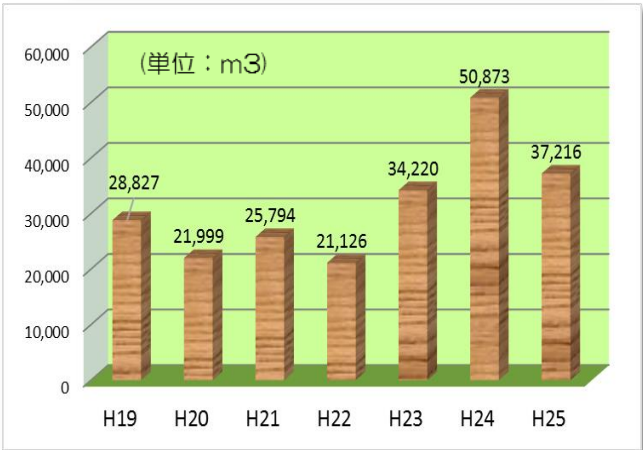
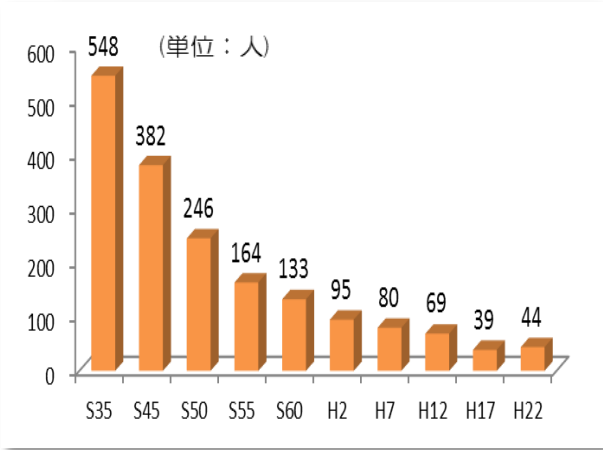
産業

◆林業従事者数12分の1（平成22年 世界農林業センサスによる昭和35年比）
山村における第一次産業の低迷、後継者不足、人口の都市集中による担い手不足など、過疎、高齢山村を象徴するかのごとく林業従事者数の減少が続いており、山林を守ることと素材生産量の確保が大きな課題となっています。

林業従事者数

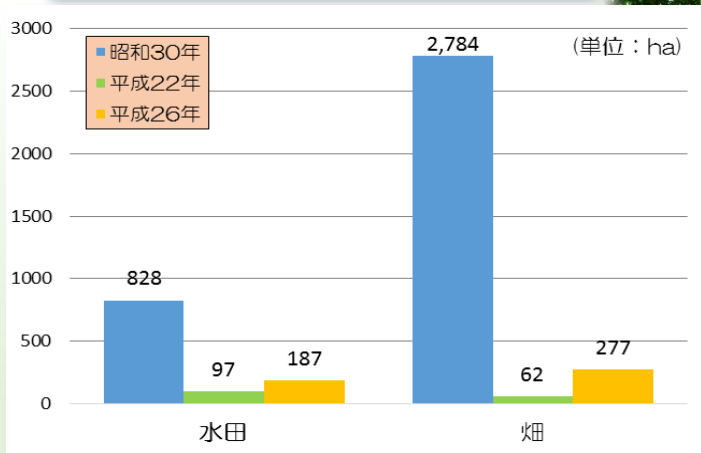
素材生産実績

町の現状



◆農地は20分の1（平成22年 世界農林業センサスによる昭和30年比）
山村における第一次産業の低迷、急傾斜地に点在する田畑に代表される生産環境の厳しさ、人口の都市集中による担い手不足など、過疎、高齢山村を象徴するかのごとく農地の減少が続いており、農地を守ることが大きな課題となっています。

農地面積の減少



昭和30年、平成22年…世界農林業センサス
平成26年…(参考) 中山間地域等直接支払制度

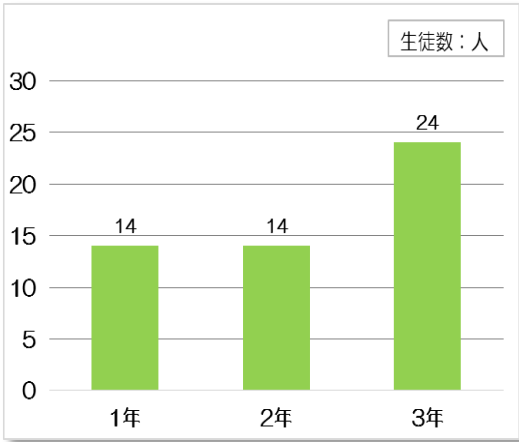
◆ 児童・生徒数

◆減少する児童・生徒数

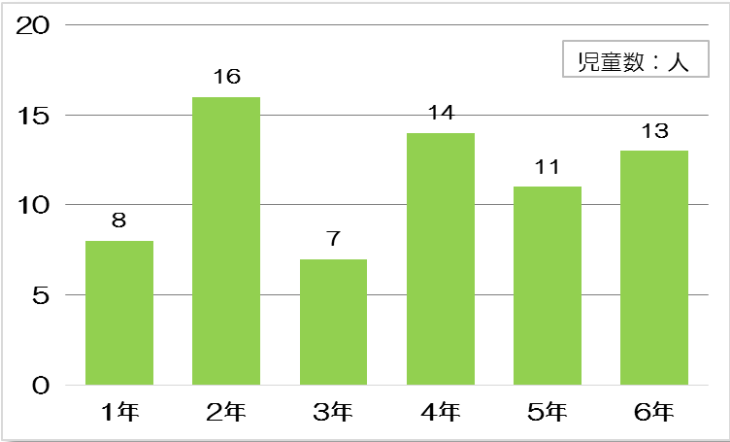
人口の過疎、高齢化とともに児童、生徒数が減少し、平成21年に中学校が、平成26年に小学校が町内1校にそれぞれ統合されるなど、地域の将来を託す子どもたちのより良き教育、子育て環境を実現する上で、大きな課題を投げかけています。

減少する児童・生徒数（平成26年度）

大豊町中学校



おおとよ小学校



町の現状



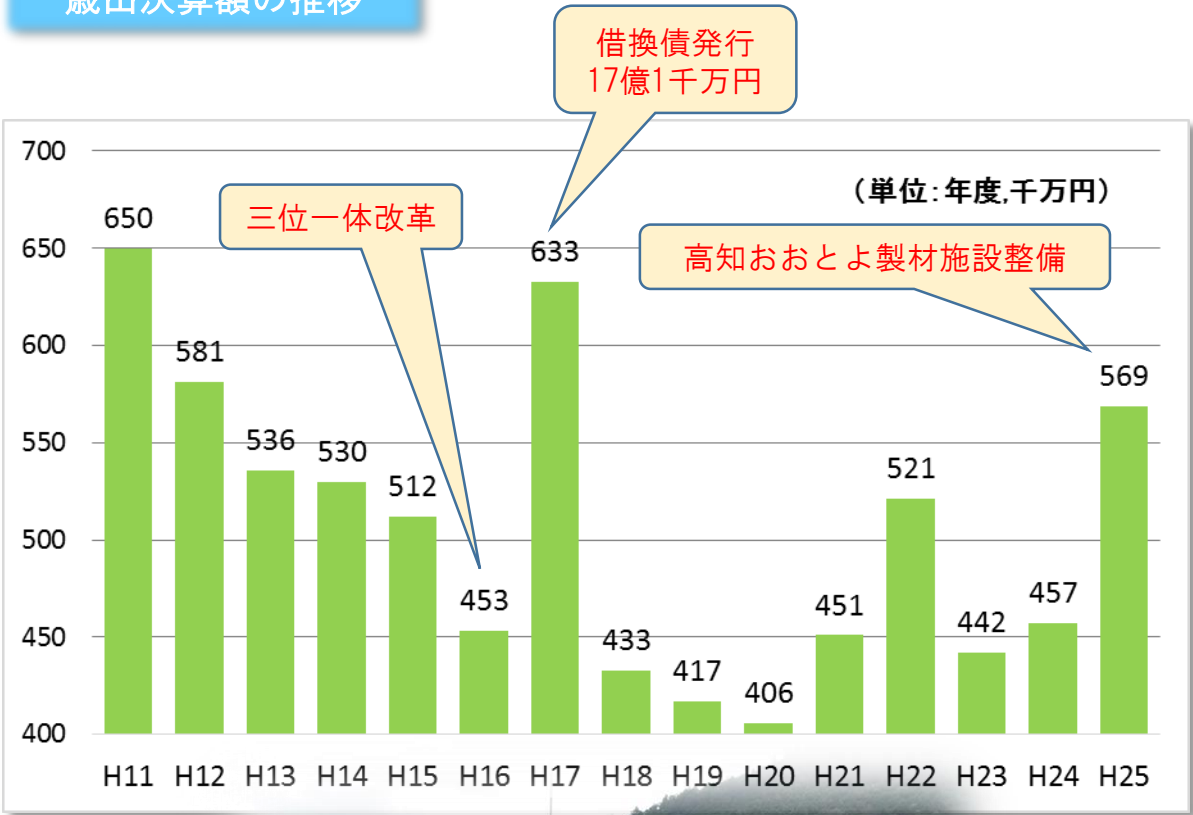
◆ 財政状況

◆ 苦しい財政運営

過疎、高齢化に伴う町内経済活動の低迷による税収の減少、人口減少時代となった国の財政改革に伴う市町村財政を取り巻く環境の厳しさなど、多くを依存財源に頼らなければならない町財政は依然として苦しい状況が続いており、今後の町政運営に大きな課題を投げかけています。

町の現状

歳出決算額の推移





町の現状



◆ 基本理念

山村の地域特性、地域資源を生かし、生き残りを賭けたローカルスタンダードとも言える「山村ならではの」「大豊ならではの」の取り組みを進め、国土の保全、国民生活の維持に不可欠な環境機能を支える山村に向け、「環境と交流から山村を再生」するとともに、「山村を支える人たちの安全、安心、快適の確保」、「山村の未来を担う世代の子育て、教育環境の整備」を進め、元気な町民が、地域資源を生かした大豊ならではの元気な営みから、「環境世紀にふさわしい元気な山村」を実現します。

◆ 目指すべき姿

山村の水や空気の供給に代表される公益的機能を守り、山村環境に支えられた元気な人々が、生活と生産の営みから「ゆとり」を実感し、この地を訪れるすべての人々が「ゆとり」を体感できる「ゆとりすとカントリーおおとよ」を目指します。

◆ 町政運営の基本姿勢

町政運営について、次の基本姿勢を貫きます。

ふるさと大豊に対する強い思いを持つ

ふるさと大豊に暮らし、住民と同じ目線で地域を見、ともに行動する

ふるさと大豊の課題を的確に捉え、積極的にチャレンジする

◆ 基本戦略

◆ 「環境、交流からの山村再生」を目指して

最も大切な基幹産業である農林業について、産業政策としての農林業から「環境との共生」という地域政策としての視点を加えた取り組みを進めるとともに、加工、流通を含めた地域資源を活用した六次産業化を推進するなど、地域産業の活性化を図ります。また、都市から見ると非日常である山村の日常の営みを多くの人々に体験していただくことから交流の活発化を図るなど、環境、交流からの山村の再生を進めます。

◆ 「生活の安全、安心、快適」を目指して

環境世紀と言われる時代に、国土を保全し国民生活を守る上で、厳しい環境の山村に人が生活することの必要性、重要性の認識を持ち山村環境に根ざした生活に直結する社会資本の整備、防災対策の充実などの生活環境の整備を進めるとともに、超高齢社会に対応した日常生活、集落機能など地域で生きていく上で欠くことのできない生活支援についてハード、ソフト両面からの対策を充実するなど、地域における住民生活の実態に沿った生活の安全、安心、快適の確保を進めます。

◆ 「夢をはぐくむ子育て・教育環境」を目指して

大豊の将来を託す子どもたちの健やかな成長、そして生まれ育った大豊の将来に強い思いを持ち、無限の可能性に挑戦するたくましい成長を願って、地域、保育、学校、行政が一体となった特色ある教育環境の整備を進めるとともに、地域環境の現実の上に立った施設整備、就学支援など、子育て支援を更に充実し、夢をはぐくむ子育て、教育環境の整備を進めるとともに、子どもたちに託す山村の日常の営み及び歴史的遺産などの地域文化を伝承、活用した文化活動の活発化を進めます。

◆ 「住民と協働する役場」を目指して

「ふるさと“大豊”に対する強い思いを持つ役場」「ふるさと“大豊”に暮らし、住民と同じ目線で地域を見、ともに行動する役場」「ふるさと“大豊”の課題を的確に捉え、積極的にチャレンジする役場」を目指し、人事考課制度の実施により全職員が意欲的に取り組む組織づくりを進めるとともに健全な財政運営に努め、常に住民と共に行動する役場づくりを積極的に進めます。

以上のような取り組みを中心に展開し、都会を追い求めるのではなく、自然や、山村ならではの素晴らしいところを伸ばすことから、環境世紀にふさわしい元気な山村の再生を通じて、大豊に暮らす全ての人々がゆとりを実感し、大豊を訪れる全ての人々がゆとりを体感できる「ゆとりすとカントリーおおとよ」の実現、山村のトップランナーを目指します。

◆ 施策の大綱

「環境、交流からの山村再生」を目指して

農業

環境農業の振興/薬草栽培の推進/加工施設の整備/
大豊ゆとりファームの充実/新たな担い手の育成/地域営農システムの再生/
有機農業の推進/耕作放棄地対策の推進/鳥獣被害対策の推進

林業

森林整備の加速化と原木増産体制の強化/
木材加工流通施設の整備/林業担い手育成対策、自伐型林業の推進/
森林の有する多面的機能の発揮/再生可能エネルギー導入促進

交流

地域間交流の推進/交流拠点の整備/交流推進体制の整備
/交流からの定住対策

商業・工業

商業の振興/環境企業の誘致/起業支援

「生活の安全、安心、快適」を目指して

集落コミュニティ

元気集落活動拠点の整備/みんなで支える郷づくり事業

高齢者

生きがいづくりの推進/暮らしの充実/住まいの整備/
見守りネットワークの充実/高齢者への訪問と消費者行政の充実/
介護サービスの充実

障害福祉

社会参画の推進/地域生活の充実/療育、教育の充実/
自立の促進/相談支援の充実

健康

健康づくりの推進/医療費の適正化/食育活動の推進/
医療体制の充実

社会資本

道路網の整備/河川の整備/飲料水の確保/住宅の確保/
防災機能の強化/浄化槽の整備/廃棄物対策の強化

防災・防犯

地域防災の強化/救急機能の強化/消防機能の強化/
交通安全、防犯対策の推進

情報化

情報化の推進/情報格差対策の推進

◆ 施策の大綱

「夢をはぐくむ子育て・教育環境」を目指して

子育て

子どもの健やかな成長支援/
就学前教育・保育環境の充実/母子・父子福祉の推進

学校教育

地域の特性を生かした特色のある学校づくり/
豊かな学びを支援するための教育環境の整備/
やさしく、かしこく、たくましく「生きる力」を育む学校教育/
地域の教育力の強化/就学支援の充実

生涯学習

生涯学習活動の推進

地域文化

地域文化活動の推進/地域文化の発展

「住民と協働する役場」を目指して

住民と協働

行財政運営の改革/職員の能力向上/
防災拠点の整備（役場庁舎の老朽化対策）



◆ 「環境、交流からの山村再生」を目指して

◆ 農業

山村特有の環境を生かしたれいほく八菜や有機野菜などの「安全な農畜産物の地域ブランド化」、薬草栽培やクールベジタブル栽培などの新規作目の積極的な導入を進めるなど、環境にやさしい農業を推進するとともに、大豊ゆとりファームを核とした農の営みを中心とする山村における地域営農システムの充実を図ります。

■ 芽生えてきた取り組み

- ・ 環境農業の振興では、天敵資材の導入による農薬の減少や、有機野菜の生産量が増加しています。
- ・ 担い手の育成・確保では、平成19年度から13名と1法人の新規就農者が誕生し、6集落で農業に取り組んでいます。
- ・ 薬草栽培では、60名の栽培者で徐々に生産が増加しています。
- ・ ゆず加工施設の整備により、ゆずの搾汁率が増加し加工生産の安定が図られ、販売増加につながっています。

★ 環境農業の振興

れいほく八菜や有機野菜などの地域ブランド化の取り組み、ゆず加工品等の販売強化を進め、碁石茶、ぜんまい加工の共同化、大型化、さらに、二次加工、流通販売体制の充実などによる山村環境を生かした六次産業化を推進するとともに、土佐赤牛の飼育奨励など、山村の特性を生かし、環境と共生できる環境農業の推進に積極的に取り組みます。



★ 薬草栽培の推進

山椒、ミシマサイコ、ホソバオケラなどの導入、自生種の採集など栽培の普及、生産者組織の支援、契約栽培による販路の開拓を進めるなど、薬草栽培の推進に積極的に取り組みます。

★ 加工施設の整備

ゆず加工施設の充実、薬草の調整施設、碁石茶製造施設、ぜんまい共同加工施設など、農産物加工部門の施設整備に積極的に取り組みます。



◆ 「環境、交流からの山村再生」を目指して

★大豊ゆとりファームの充実

農作業の受託、碁石茶製造、ぜんまい加工やクールベジタブル栽培などの農業を中心とする取り組みに加え、アウトドアスポーツ、山村の生活・生産の日常の営みを通じた交流など、地域間交流を加えた異業種連携による新たな生活スタイルの確立に向け地域の後継者を養成するなど、農を中心とする地域社会システムを充実します。



★新たな担い手の育成

農の営みに加え、林業、アウトドアスポーツなどの地域間交流との兼業化による農業後継者から地域後継者を確保する視点に立った担い手の育成、支援に積極的に取り組みます。

★地域営農システムの再生

中山間地域等直接支払制度による集落営農体制の充実を図るとともに、山村における農の営みの再生に向けて、高知大学、高知県、大豊町、大豊ゆとりファームが連携して、新規就農希望者の受け入れ、薬草栽培、クールベジタブル栽培などの有望作物の実証実験を通じた山村における地域営農システムの再生を目指すとともに山村における農の営みを実践する山村農業実践センターをスタートさせ、経営所得安定対策推進事業の導入など、地域営農体制の充実に向け積極的に取り組みます。

★有機農業の推進

環境と調和のとれた農業生産の確保を目指し、流通や販路の開拓など有機農業者の取り組みを支援するとともに、地域の担い手として育成・確保に積極的に取り組みます。

★耕作放棄地対策の推進

農地を守ることから地域を守る取り組みとして薬草栽培の普及、地域間交流施設としてのそば栽培園、棚田再生など、多面的な農地保全対策に積極的に取り組みます。

★鳥獣被害対策の推進

猟友会を中心に、鳥獣被害対策実施隊を設置し、シカ、イノシシ、サルなどの鳥獣被害を防止します。また、捕獲に対する奨励制度、電気牧柵設置に対する補助制度などにより、鳥獣被害対策に積極的に取り組みます。



◆ 「環境、交流からの山村再生」を目指して

◆ 林業

林業・木材産業の成長産業化に向けた取り組みとして、森林整備の加速化と原木増産体制の強化、木材加工流通施設の整備による林業の成長産業化を積極的に推進し、林業従事者の雇用の増大と施業による森林所有者の収益アップを目指すとともに、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させ、山村の住民が協力しあい、山林の保全管理や森林資源の利活用を次の世代に継承させる『100年の森』づくりを推進します。

■ 芽生えてきた取り組み

- ・大型製材工場の誘致を契機に、各林業事業体は増産に向け積極的に取り組んでおり、雇用の創出や経営の改善のほか、国、県、町の各種支援制度を活用した高性能林業機械の導入などを実施しています。
- ・原木価格も上昇傾向にあり、森林所有者の所得の向上にも期待が持たれています。

★ 森林整備の加速化と原木増産体制の強化

森林の集約化（団地化）を推進し、林道・作業道の整備や高性能林業機械の導入促進による、森林整備（搬出間伐）の加速化と高齢級の森林の伐採による原木増産体制の強化を図り、素材生産量の拡大及び森林を次世代へ継承させるための再造林（植林）に積極的に取り組みます。



★ 木材加工流通施設の整備

町内製材工場等への原木の安定供給体制の強化を図るため、原木ストックヤード、チップ工場、CLT住宅等の整備に積極的に取り組み、林業と木材産業の一体化による山村の活性化や雇用の創出・拡大を図ります。



◆ 「環境、交流からの山村再生」を目指して

★林業担い手育成対策、自伐型林業の推進
減少する林業従事者数の対策として、林業の担い手の育成を支援し雇用の創出を図ります。また、森林を所有し、自ら施業する自伐林家に対する支援を拡充し、新たな自伐林家の増大と森林資源の有効活用を推進します。



★森林の有する多面的機能の発揮

森林による生物多様性保全や地球環境保全、土砂災害防止機能、水源涵養機能などの多面的機能を発揮させるため、森林整備を積極的に推進します。また、カーボンオフセットの普及を推進し、森林の二酸化炭素（温室効果ガス）吸収量のクレジット化を推進します。

★再生可能エネルギー導入促進

森林資源の有効活用及び森林所有者への収益還元を目的とした「木質バイオマス発電」や山村の地形を生かした「風力発電」など再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。



◆「環境、交流からの山村再生」を目指して

◆交流

都市生活者にとって非日常であり魅力的な山村の日常の営み、生産の営みなど、地域で培われてきた山の暮らしの体験や雄大な自然にチャレンジするアウトドアスポーツの体験などを「山村でのセカンドライフ」や「体験型教育旅行」として提供する取り組みを積極的に進めるとともに協働の森事業などの企業との連携による都市との交流事業など、あるがままの山村の営みを通じた交流の活発化を進めます。

また、若い後継者の育成を目指して、農業、林業とアウトドアスポーツなどの組み合わせによる新しい生活スタイルの構築に向けての支援など、地域の次代を託す若者の定着を進めるとともに、ふるさと応援団や山の市などの取り組みを充実するなど、交流からの地域の活力再生を進めます。

■芽生えてきた取り組み

- ・体験交流を目的とした団体の活性化が図られ、民泊の受け入れを担う組織が発足しました。
- ・企業との連携によって、歴史・文化の継承や協働の森事業などの取り組みが増え、交流機会の増加による地域の元気再生が図られています。

★地域間交流の推進

ラフティング、トレッキングなど地域の自然を生かしたアウトドアスポーツと山の暮らしを組み合わせた商品を都市に暮らす人々に非日常のアクティビティとして販売する取り組みや、日常の生活の営みや生産の営みなどの体験を体験型教育旅行として商品化し、教育旅行の誘致に向けた取り組みを進めるなど、交流機会の創造によって地域を元気にする取り組みを進めて行きます。



★交流拠点の整備

体験交流団体の体験型教育旅行をターゲットとした「山の暮らし体験」の誘致に必要な誘客プロモーション部門やインフォメーション部門などを担う拠点の整備や情報発信のためのネット環境の整備、地域における受入体制の整備など、交流拠点の整備を進めて行きます。

★交流推進体制の整備

体験教育旅行の誘致担当部門の強化のため、民間を活用した人材の育成や誘致活動を支援する体制の整備を進めて行きます。また、民泊推進協議会を中心とする民泊農家や体験交流団体への研修の実施など、民泊事業の推進に向けた体制整備を積極的に進めて行きます。



◆ 「環境、交流からの山村再生」を目指して

★交流からの定住対策

交流人口の増大を図る中で交流から定住へと誘導するため、定住に向けての多様な支援体制を充実するとともに、地域の環境、行事、習慣などを体験する「お試し住宅」の活用や空き家情報の提供などにより定住対策に積極的に取り組みます。



◆商業・工業

商圈が消滅したともいわれる町内商業、超高齢社会における日常生活物資確保の困難性など地域の特殊な現状の上に立って、町内消費を奨励するなど、地域における商業機能の維持、充実に努めるとともに、雇用の場の確保、地域資源の活用などによる地域経済の活性化に向け、地域資源活用型の企業導入を積極的に進めます。

■芽生えてきた取り組み

・商工会、ヤマト運輸、大豊町の3者が連携した「おおとよ宅配サービス」を開始し、買い物弱者支援や高齢者の見守りを複合させた取り組みを行っています。

★商業の振興

地域における消費購買力の向上に向け、町商工会の商品券活用を奨励し町内消費を喚起するとともに、商工業者と宅配業者が提携した配送事業を推進し、商工業の振興に積極的に取り組みます。



施策の内容

★環境企業の誘致

地域資源を活用した企業の導入を促進するため、チップ工場や大型製材工場を中心とする木材関連企業の団地化を進めるとともに、木質バイオマス発電所や風力発電施設の誘致、学校跡地などの利用による企業の導入に積極的に取り組みます。

★起業支援

地域資源を活用するなど、多様な起業に向けての取り組みの活発化を推進するため、地域における起業活動の支援に向け積極的に取り組みます。

◆ 「生活の安全、安心、快適」を目指して

◆ 集落コミュニティ

集落を中心とする取り組みの推進により集落の元気から地域を再生するため、地域間交流の活発化に向けた交流拠点集落としての生活環境の整備を進めます。

■ 芽生えてきた取り組み

・複数の地区において、「地域の現状と課題」「地域資源の見直し」「地域の将来像を模索する」などの取り組みが始まりました。



★ 元気集落活動拠点の整備

集落活動サポート、生活支援サービス、安全・安心サポート、農産物等の生産、販売、交流からの定住サポート、防災活動、健康づくり事業などを複合的に推進する拠点、地域を整備し、住民サービスの向上に積極的に取り組みます。

施策の内容

★ みんなで支える郷づくり事業

「地域でみんなが助け合う」、「地域をみんなで守る」、「地域をみんなで元気にする」の3つの取り組みを基本とした複数集落による取り組みを支援する「みんなで支える郷づくり事業」を更に充実させるとともに、集落環境維持条例に基づく取り組みなどを推進し、集落環境を整備することにより、いつまでも住める集落の形成、元気で明るい集落の存続に取り組みます。



◆ 「生活の安全、安心、快適」を目指して

◆ 高齢者

住み慣れた地域で安全で安心して暮らせる社会の実現に向け、不安を抱えるお年寄りの生活の場に出向き、日常の不安の共有や解決策を共に見い出す取り組みや、社会福祉法人への支援、ブロードバンド環境を活用したボランティアなどによる声かけサービスの更なる充実を図るとともに、高齢者を中心とする交通弱者の移動手段や外出機会への支援を充実します。また、地域の生活環境の特性に対応したソフト、ハード両面からの日常生活の支援体制を充実します。

■ 芽生えてきた取り組み

- ・住民の自主活動やあったかふれあいセンター事業の充実により、住民の集いの場が増えてきています。
- ・地域での交流は、高齢者の心と身体の健康の維持に効果をもたらしています。

★ 生きがいづくりの推進

高齢者自身が自分らしくいきいきと過ごすことができるよう、ボランティア活動、老人クラブ活動やシルバー人材センター活動など住民活動の活性化を支援します。

★ 暮らしの充実

乗合タクシー制度、通院タクシー制度などを充実させ、高齢者を中心とする交通弱者の交通の確保、買い物支援など暮らしの充実に努めます。



施策の内容



★ 住まいの整備

住み慣れた住宅に住み続けられるよう、住宅の改修・改造を支援し、高齢者が安心して暮らせる住環境の整備に積極的に取り組みます。また、休校舎を活用するなど、既存の施設を活用して地域の実情に即した整備に取り組みます。

◆ 「生活の安全、安心、快適」を目指して

★見守りネットワークの充実

ブロードバンドを活用した愛コンタクトサービス、携帯電話やシルバーホンを活用した緊急通報システム、各組織の見守り、声かけなどにより日常生活をサポートするとともに、広域連携による救急搬送などの緊急時のサポート体制の充実に努めるなど、地域における身守りネットワークの充実に積極的に取り組みます。



★高齢者への訪問と消費者行政の充実

高齢者の訪問と消費者行政を充実し、町民が安心して暮らせるようにします。

★介護サービスの充実

介護保険制度の適正な運用に努めるとともに、山村の立地特性からくる課題への対応及び、介護予防に重点を置いたその人らしさを大切にしたい在宅サービス、施設サービスを提供できる仕組みづくりに積極的に取り組みます。



◆障害福祉

障害のある人が自らの意思によって、その暮らし方を決めていく、その意思決定やそれに基づく生活に必要な支援を提供するとともに、社会福祉法人と連携して、障害のある人が地域社会の中で、その一員としての役割を果たしながら自分らしい生活が送れる町づくりを目指します。

■芽生えてきた取り組み

・その人らしく地域で暮らすため様々な機関が連携し、障害のある人の自立を支えています。障害のある人への相談支援の取り組み等により、事業所へ通所する人の数も少しずつ増えています。

★社会参画の推進

社会参画の推進に向け、広報、啓発活動を充実するとともに、文化、交流事業の開催、ボランティアの育成に積極的に取り組みます。

★地域生活の充実

障害のある人の日常生活環境の整備、外出支援、交流の機会の確保に努めるなど、障害福祉サービスの充実に積極的に取り組みます。

◆ 「生活の安全、安心、快適」を目指して

★療育、教育の充実

障害のある人の学習環境の整備などによる学習機会を創出するとともに、障害に対し正しい認識と理解を深めるため、体験学習の実施など障害のある人が快適に暮らすことのできる地域社会の実現に積極的に取り組みます。

★自立の促進

居宅のバリアフリー化、就労支援施設の充実等を通じて、障害のある人が自立することのできる地域社会に向けた多様な取り組みを進めるなど、生活の自立促進に積極的に取り組みます。

★相談支援の充実

障害福祉に関する様々な問題についてその人がその人らしく生活するために必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行うほか権利擁護のために必要な支援を行います。



◆健康

町民が生涯を通じて健康に暮らすことを目標に、ライフスタイルに応じた健康の維持、健康のために自らが主体的に取り組むことのできる生活環境、健康サービスの充実に向けた健康づくり支援体制を充実します。

■芽生えてきた取り組み

・自分の健康は自分で守るという意識の人が増えてきて、毎年健診を受診する人が増加してきました。

★健康づくりの推進

町民参加による健康づくりを推進するため、健康づくり婦人会活動など、町民が中心となった保健活動を支援します。また、地域における医療、介護、健康の連携を推進するなど、健やかな暮らしの実現に向け、積極的に取り組みます。



◆ 「生活の安全、安心、快適」を目指して

★医療費の適正化

集団健診や医療機関での個別健診の実施により、健診率の向上に努め、生活習慣病などの予防により医療費の削減につなげることから、住民が医療や介護に頼らず健やかに暮らすことのできる取り組みを進め健康長寿を目指します。



★食育活動の推進

生涯を通じて健全で安心な食生活を送るため、食生活改善推進員活動を支援するとともに、地域の食材利用による地域食文化の伝承普及などを通じて食育活動を積極的に推進します。

★医療体制の充実

町内医療機関の協力を得て、町内医療体制の充実を図るとともに、緊急時移送体制の充実、通院タクシー制度の充実、見守りネットワークへの加入促進など、地域における医療体制の充実に積極的に取り組みます。

◆社会資本

生活に密着する社会資本の整備を進めるため、生活直結道路網の改良及び維持管理、国、県事業による地すべり対策、砂防対策など防災施設の整備、河川の整備を進めるとともに、森林の荒廃などにより生活用水の確保に困窮する地域における飲料水供給施設など、地域特性に対応した生活に密着する社会資本の整備を更に進めます。

■芽生えてきた取り組み

- ・橋梁の点検、補修などの耐震整備が実施されています。
- ・簡易給水施設等による水道普及率が毎年向上しています。

★道路網の整備

毛細血管部分まで快適な通行を確保するため、国道439号の改良促進、町内生活道の改良促進、維持管理など町民生活に直結する道路網の整備、管理に積極的に取り組みます。

★河川の整備

地域文化の源である吉野川について、濁水、洪水、異常低水温など、早明浦ダムに起因する被害の抜本的対策及び支流を含めた河川環境の整備について国、県に強く働きかけるとともに、河川本来の地域の営みを支える機能の回復、活用を積極的に進めます。

◆ 「生活の安全、安心、快適」を目指して

★飲料水の確保

森林の荒廃による水源枯渇などに対応した飲料水供給施設の整備を進めるなど、未給水世帯の解消に努めるとともに、老朽施設の改修を実施するなど、飲料水確保対策に積極的に取り組みます。

★住宅の確保

住宅の確保については、公共から民間へと移行する方向を目指しながら超高齢社会における需要の動向にも配慮するなかで公営住宅の今後の管理の在り方について検討するとともに、空き家情報の提供など、定住対策としての住宅の確保について積極的に取り組みます。

★防災機能の強化

直轄砂防事業、民有林直轄治山事業など、国、県の事業導入により防災施設の整備を進めます。

★浄化槽の整備

家庭排水の浄化により水源地域としてクリーンな水環境を守るとともに、日常における生活の質の向上を目指し浄化槽の整備に積極的に取り組みます。

★廃棄物対策の強化

町民の環境意識の高揚に努め、リサイクル活動、ごみの分別収集体制などを充実するとともに、広域連携による処理体制の充実を図り、環境に配慮した廃棄物対策の強化に積極的に取り組みます。



◆ 「生活の安全、安心、快適」を目指して

◆ 防災・防犯

自主防災組織を更に充実するとともに、消防団の充実強化を進めるなど、地域における消防、防災機能を高めるなど、安全・安心で快適な日常生活の確保対策を進めます。

■ 芽生えてきた取り組み

- ・ 急病人の緊急搬送、災害時の物資輸送に備え、町内4か所へのヘリポートを整備しました。
- ・ 豪雨に備え、住民の安全確保を目的とした事前防災行動計画(タイムライン)の取り組みが始まりました。

★ 地域防災の強化

災害時避難行動要支援者等への情報伝達体制や避難支援体制の整備、自主防災組織の充実による町内全域での防災訓練の実施、集会所などの指定避難所の耐震整備など、ハード、ソフト両面からの災害に対する地域防災機能を強化し、安全・安心な暮らしの確保に積極的に取り組みます。

★ 救急機能の強化

地域における見守りネットワークによる緊急時の通報体制の充実、緊急ヘリポートの活用、広域連携など、地域における救急搬送体制、機能の強化に積極的に取り組みます。



★ 消防機能の強化

町外からの通勤者の消防団加入促進による消防団員の確保、消防拠点施設、設備及び機械器具の充実など、地域における消防団活動の強化を進めるとともに、広域連携による常備消防体制を充実するなど、消防機能の強化を積極的に進めます。

★ 交通安全、防犯対策の推進

交通安全、防犯を一元的に取り組む地域安全協議会を中心に、地域安全パトロールの強化による防犯活動の充実、交通安全運動の推進を図るとともに、安全、快適な通行を確保するための交通安全施設の整備を進めるなど、交通安全、防犯対策に積極的に取り組みます。



◆ 「生活の安全、安心、快適」を目指して

◆情報化

情報環境の充実による魅力ある生活環境を実現するため、ブロードバンド環境を活用した地域における情報化を更に進めるとともに、携帯電話の不感地域解消などに向けた取り組みを推進し、高度情報化に対応した情報環境の整備を通じて、若者に魅力ある生活空間の整備を進めます。

■芽生えてきた取り組み

- ・大豊町公式フェイスブックが運用開始され、町内外へ積極的な情報発信が行われています。
- ・高齢者の見守りネットワーク事業の加入者数が増加し、安否確認体制等がより充実してきました。

★情報化の推進

高齢者の見守りネットワーク、ゆとりすと放送、（行政放送、緊急放送）など、情報サービスの拡充に積極的に取り組むとともに、町民のＩＴ能力の向上に向け、各種講座を開催するなど日常生活の情報化に積極的に取り組みます。

★情報格差対策の推進

高齢者の見守りネットワークでの活用や日常生活での必要性から、町内全域で携帯電話の通話・通信が可能となるよう不感地域解消や次世代移動通信網などの整備支援や、ゆとりすと放送の新たなシステム構築の検討に向けた取り組みを積極的に推進し、情報格差の是正に努めます。

施策の内容

facebook



◆ 「夢をはぐくむ子育て・教育環境」を目指して

◆子育て

地域の将来を託す子どもたちの子育て環境の充実に向けて、子どもの数が減少する地域の現実の上に立った施設の整備、保育サービスの質的向上充実を図るとともに、子どもたちの医療、地域における子育て環境の整備など、子どもたちの健やかな成長を積極的に支援します。

■芽生えてきた取り組み

- ・町内保育所で交流会などの合同事業が数多く行われてきました。
- ・保育所同士だけではなく、小学校との連携も図っており、子ども同士の交流の機会を設けることで、保育所での生活から学校生活へスムーズに移行できるようになりました。

★子どもの健やかな成長支援

子育て中の母親サークルの活動支援、各種の予防接種、医療費の無料化など、子育て支援施策の充実に積極的に取り組みます。

★就学前教育・保育環境の充実

就学前の子どもたちの教育・保育環境の充実を図るため、「子ども・子育て支援事業計画」を遂行します。

★母子、父子福祉の推進

母子、父子に関する福祉制度によるサービスの充実、高齢者などとの合同運動会の開催など地域における交流機会を創出するなど、母子、父子福祉の推進に積極的に取り組みます。



◆ 「夢をはぐくむ子育て・教育環境」を目指して

◆ 学校教育

「やさしく、かしこく、たくましく」子どもの成長を願って、小中学校一環教育による「大豊らしい特色ある教育」、「子どもたちが夢中になれる学校づくり」、「子どもたちが夢のきっかけをつかむことのできる教育」を推進します。また、子どもたちのより良き教育環境の実現を目指した適正配置に向けた取り組みを進め、子どもたちが「大豊で学んでよかった」、保護者が「大豊で子育てしてよかった」、町外の人たちから「大豊で子育てしたい」と言われるおおとよ教育を推進します。

■ 芽生えてきた取り組み

・「大豊らしい特色ある教育」の一つである外国語教育などで、外国語に親しむ環境が整い、成績の向上をはじめ子どもたちの外国語への関心が高まりました。

★ 地域の特性を生かした特色のある学校づくり

大豊町で育つ子どもたちのために、大豊の特色を生かした稲作体験やゆず、お茶の収穫、販売学習、永淵神楽、寺内太刀踊りなど、地域、保護者、教職員、行政が協力し支える学校づくりを推進します。

また、キャリア教育の充実に向けて、自分の将来に志を持ち実現に向けて努力する態度を育み、必要なコミュニケーション能力や協調性、社会性、マナーなどを身につけさせることを目的に、職場体験学習を実施し、「大豊を心に刻む教育」を推進します。

★ 豊かな学びを支援するための教育環境の整備

児童・生徒数の減少する中、子どもたちにとってより良き教育環境の整備を目指して小中一環（貫）教育の更なる充実のため、学校施設の一体的な整備について具体的に計画し、総合的な教育施設の環境整備を進めます。

★ やさしく、かしこく、たくましく「生きる力」を育む学校教育

子どもたちの学力向上を目的に教材の環境整備をはじめ健全な体力の向上を目指して先進的な支援制度の構築を図ります。



◆ 「夢をはぐくむ子育て・教育環境」を目指して

★地域の教育力の強化

地域、学校が一体となって、地域の将来を託す子どもたちの健やかな成長を育むため、学校行事への町民の参加を促進するなど、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、通学児童の見守り活動により通学の安全対策を更に進めるなど、地域の教育力の向上を図ります。



★就学支援の充実

通学など地域的な特性からくる就学負担を軽減するため、高校生を対象とする支援制度、小中学生を対象とする入学支援制度など、就学支援に積極的に取り組みます。

◆生涯学習

心身ともに健やかな暮らしを目指し、自分の元気から地域を元気にする生涯現役の実践に向けた「健康」をテーマとする学習活動の充実に向け、大豊ならではの、地域における生涯学習活動の推進に積極的に取り組みます。

■芽生えてきた取り組み

・住民ニーズにあった各種研修や講座の実施が学校を中心に定着しつつあります。

★生涯学習活動の推進

「みんなで支える郷づくり事業」による地域での取り組みを更に充実するとともに、町民スポーツの活発化に向け指導的な人材の確保を推進するなど、全町民が大豊で生きること誇りを持つ「積極人口化」を推進します。



◆ 「夢をはぐくむ子育て・教育環境」を目指して

◆ 地域文化

大豊独特の山村地域の集落のたたずまい、そこで営まれる日常の生活、生産の営みに代表される山村の文化、山村の営みの中で生まれ、そして育まれ、受け継がれてきた伝統芸能、神社仏閣に代表される歴史文化など、地域の文化を守り、発展、伝承するため、地域における文化活動の推進に積極的に取り組みます。

■ 芽生えてきた取り組み

- ・ 小学校を中心に郷土芸能の伝承等をクラブ活動で取り入れ実施しています。

★ 地域文化活動の推進

寺内太刀踊り、岩原・永渕神楽などの民俗文化、国宝薬師堂、立川御殿などの文化遺産を守り次の世代に伝承するため、保存活動の支援などを通じて地域文化活動の推進に積極的に取り組みます。

★ 地域文化の発展

山村の日常の生活そのものが地域の文化であり、地域外から見ると魅力的な非日常である山村のたたずまいや生活、生産の営みを交流資源として活用、薬師堂などの文化遺産と山村の生活の魅力を交流の資源として地域を元気にする取り組みを進めることから地域文化の発展に積極的に取り組みます。



◆ 「住民と協働する役場」を目指して

◆ 住民と協働

超高齢社会を迎えた町民の生活の場に出向き、町民とのコミュニケーションの中から生活実態を共有し、町民生活の向上に向けた役場サービスの充実を図るとともに、地域担当制の取り組みを充実するなど、町民とともにあり、共に行動する役場を実現します。

■ 芽生えてきた取り組み

・ 職員の地域担当制により、地域の声を直接聞きに出向くことにより、地域の実情がリアルタイムに分かり、地域の要望等にも素速く対応できるようになりました。

★ 行財政運営の改革

町の成長戦略を推進するためには、職員の能力向上が不可欠であり、企業との連携による職員研修や地域に密着した取り組みのできる人材の確保で、常に改革の視点に立った組織運営など、町の将来に向けた取り組みの推進体制を充実します。また、広域行政の負担と役割について総合的な見直しを推進します。

★ 職員の能力向上

目指すべき職員像として、大豊町職員憲章を定め、「ふるさと大豊に対する強い思いを持つ職員」「ふるさと大豊に暮らし、住民と同じ目線で地域を見、ともに行動する職員」「ふるさと大豊の課題を的確に捉え、積極的にチャレンジする職員」を目標に、地域担当制、人事考課制度などを通じて職員能力の向上を目指します。

★ 防災拠点の整備（役場庁舎の老朽化対策）

大規模災害における、迅速かつ的確な災害応急対策を実施するため、重要な役割を担う防災拠点などを兼ね備えた複合型の庁舎建設に向け整備計画を進めます。



◆ おおとよの挑戦 1

豊富な森林資源を循環利用することで、林業の成長産業化及び森林の有する多面的機能の発揮を実現し、美しい山村を次世代に継承させる「100年の森」づくりを進め、山村で暮らし、働ける環境を目指します。

- 目標
- ◆ 森林整備の加速化と原木増産体制の強化—素材生産量7万m³以上/年
 - ◆ 木材加工流通施設の整備—————原木消費量15万m³以上/年
 - ◆ 林業従事者(自伐林家を含む。)の増————100人/5年間



◆ おおとよの挑戦2

地域で培ってきた人や風土を活かした交流機会の更なる創造によって、地域を元気にする取り組みを進めるとともに、いつまでも愛着のある地域で暮らせる町づくりを目指します。

- 目標
- ◆体験教育ツアーの実施—————20校誘致(修学旅行等)/年
 - ◆民泊受入家庭数—————50戸
 - ◆民泊宿泊数—————2,400泊/年



おおとよの挑戦

◆ おおとよの挑戦3

大豊の文化である山村の営みや集落コミュニティを中心とする元気集落交流拠点から「元気な集落」「元気な地域」づくりを進め定住促進を目指します。

- 目標
- ◆集落コミュニティを軸とした移住を推進—————10組以上/年
 - ◆みんなで支える郷づくり事業への参加—————全集落
 - ◆いつまでも暮らせる集落環境づくり—————全集落

元気集落

みんなで
助け合う

・山村環境と生活支援に支えられた「おおとよのくらし」

・道役等の共同取り組みなど「みんなで支える郷づくり事業」で生活と集落環境を守る

みんなで
守る

みんなで
元気にする

集落コミュニティ
定住促進

・健やかな地域づくり
・交流の拡大
・地域おこし協力隊、集落支援員の受け入れ
・移住の推進

・集落維持、安全・安心な生活、地域経済の再生

地域の“よりどころ”
「元気集落交流センター」
を核にした元気な集落

おおとよの挑戦

◆ おおとよの挑戦 4

農の営みを「産業」「環境」「地域社会」の各面からとらえ、山村に根ざした環境に優しい生産の営みの再生を目指します。

- ◆目標
- ◆担い手の育成・確保—————20名/5年間
- ◆薬草栽培、碁石茶の生産・販売の増加————20%アップ/年
- ◆地域営農システムの再生—————山村農業実践センターの確立



◆ おおとよの挑戦5

山村に根ざした元気で楽しい健康づくりから、健やかに暮らす地域づくりを目指します。

- ◆目標
- ◆特定健診の受診者数の増加—————受診率60%/年
- ◆介護保険申請が必要となる年齢の平均————85歳
- ◆生きがいを感じている高齢者の割合————全高齢者



おおとよの挑戦

◆ おおとよの挑戦6

「おおとよ」の未来を託す子どもたちの、やさしく、かしこく、たくましい成長を目指します。

目標

- ◆全国学力・学習状況調査及び到達度把握調査——各学年全国平均以上
- ◆全国体力・運動能力、運動習慣等調査——各学年全国平均以上
- ◆小中学校評価中、「あいさつ」「そうじ」「ことばづかい」3項目の「Aそう思う」「Bややそう思う」の回答率——80%以上

おおとよ
教育

やさしく
(心)

- ・大豊を心に刻む教育の実践
- ・人間力の育成推進
- ・家庭教育の支援



「生きる力」
を育む

かしこく
(知)

- ・外国語教育の推進
- ・教材費の助成
- ・各種検定受験の支援
- ・ICT教育推進
- ・キャリア教育推進



たくましく
(体)

- ・体力向上の実践
- ・スポーツ活動への支援
- ・給食費の助成



◆ おおとよの挑戦7

山村の環境に根ざした、みんなが安全・安心に暮らせる地域づくりを目指します。

- 目標
- ◆自主防災組織、消防団との合同防災訓練の実施――2回/年
 - ◆事前防災行動計画（タイムライン）の実施――人的災害の防止（全地区）
 - ◆高齢者世帯訪問――180日/年



- ・事前防災行動計画（タイムライン）
- ・災害時避難行動要支援計画
- ・自主防災組織の充実
- ・消防団員の確保
- ・救急搬送体制の充実

- ・消防拠点施設の整備
- ・防災拠点整備
- ・集会所の耐震
- ・住宅改修
- ・道路改良

守る

防災・情報・安全・安心
機能の充実

防ぐ

- ・防犯啓発
- ・高齢者訪問
- ・買い物支援
- ・乗合タクシー
- ・住宅の確保
- ・交通安全の啓発



- ・橋梁改修
- ・地すべり対策
- ・生活用水の確保
- ・情報伝達の充実
- ・がけくずれ住家防災対策

おおとよの挑戦



高知県大豊町